

プッシュボタン式マウスガード開閉機能と  
内装着脱方式を採用した  
ヤマハシステムヘルメット『SA*i*』  
新発売について

1990年1月

当社では、上下開閉式のマウスガードを備え、好みに応じてフルフェイスタイプとジェットタイプに使い分けられる2WAYのヤマハシステムヘルメット『SA』をベースに、着脱ができる内装と、プッシュ式ボタンによるマウスガード開閉方式といった新しい機能を付加したヤマハシステムヘルメット『SA*i*』を1990年1月25日より新発売いたします。

カラーリングも4種類とし、選択の幅を広げたのも特徴です。

『SA*i*』は、内装のクッションパーツを取り外して洗濯ができるので、常に清潔で気分よく使用できる、またマウスガードの開閉が容易にできるなど、新しい魅力が加わりました。

なお、従来のヤマハシステムヘルメット『SA』も並行して販売いたします。

#### 記

名 称 : ヤマハシステムヘルメット「SA*i*」

発 売 日 : 1990年1月25日

メーカー希望小売価格 : 35,000円(消費税を含まず)

カ ラ ー リ ン グ : シルキーホワイト

メルティングブラック

ミッドナイトシルバー

ダークレッド(3月より発売)

サ イ ズ : S、M、L

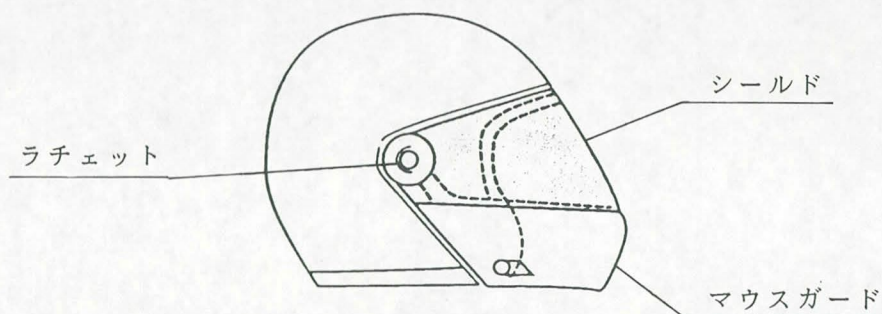
規 格 : JIS-C種

## 主 な 特 徴

### 1. フルフェイス、ジェットと使い分けられる2WAY方式

マウスガード部分が独立しており、ラチェットをはずして、シールドやマウスガードを交換するだけの簡単な操作で、フルフェイスタイプ、ジェットタイプの切り換えができます。(注：ジェットタイプのシールドはオプションです)

『SA』と同様、フルフェイスタイプの機能性、安全性と、ジェットタイプの気楽な感覚、開放感という相異なる機能を融合させた多機能ヘルメットです。



### 2. マウスガードの開閉が容易なプッシュ式ボタン

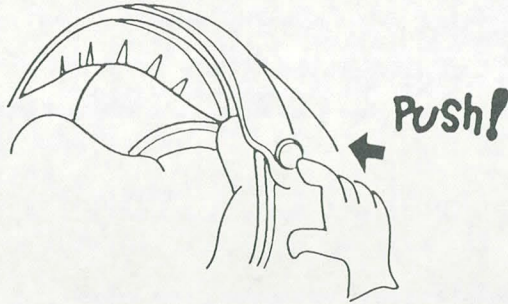
プッシュ式ボタンの採用により、マウスガードを上下させての開閉が容易になりました。

マウスガードを開けるときは、プッシュボタンを押して、カチッと止まるまで持ち上げるだけ。メガネをかけたままで操作ができます。

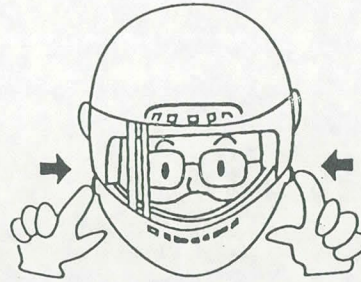
マウスガードを閉じるときは、プッシュボタンがロックされるまで、下に下げます。

## マウスガードの操作方法

1. マウスガードを開けるときは、プッシュボタンを押し、持ち上げる。



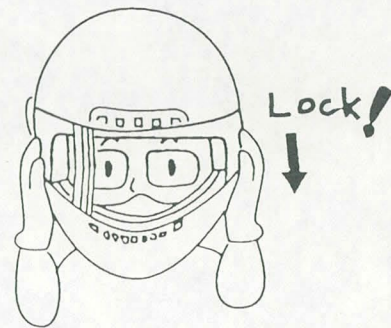
2. ヘルメット装着時にマウスガードを開けるときは、両手でプッシュボタンを押し、マウスガードを両手で持ち上げる。



3. マウスガードを上へ上げるときは、止まるまで上げる。



4. しっかり下まで下げて、プッシュボタンがロックされるのを確認する。



### 3. 着用のまま喫煙もできるフルフェイスタイプ

マウスガードを開けられるので、メガネをかけたままヘルメットをかぶることができます。

また、ヘルメットを脱がずにタバコをすったり、コーヒーやジュースを飲むことができます。

#### 4. 5段階調節式シールド

フルフェイスタイプ、ジェットタイプともに、シールドは5段階に調節できます。

#### 5. 洗濯ができる着脱式の内装

ヘッドクッション、左右の耳クッション、ネッククッション、サイドクッションのインナーパッドやアンダースポイラー、アゴヒモカバーセットを取り外して洗濯できるので、いつでも気持ちよく着用できます。

内装クッション類の洗濯は、中性洗剤で押し洗いして陰干しするか、洗濯機を使用する場合は、洗濯ネットに入れて洗います。

#### 6. 補修パーツと豊富なオプションキット

プッシュボタンやジェットシールド、インナーパッドセット、アンダーポイラー、アゴヒモカバーセットなど、損傷しやすい部分の補修パーツを準備。

また、フルフェイスタイプとジェットタイプとを使い分けるためのオプションキットも揃えてあります。

#### 7. フルダイレクトベンチレーション

フルフェイスの場合、ヘッド部分（3ポート）、マウスガード部分（7ポート）の2ヵ所から、計10個のエアインテークポートを通して、帽体内部に新鮮な風を送ります。

既存のベンチレーション（通風装置）よりエアインテークの開口面積を増やすことにより、より多くのフレッシュな風を確保します。

ジェットのの場合、ヘッド部分（3ポート）より風を取り入れます。

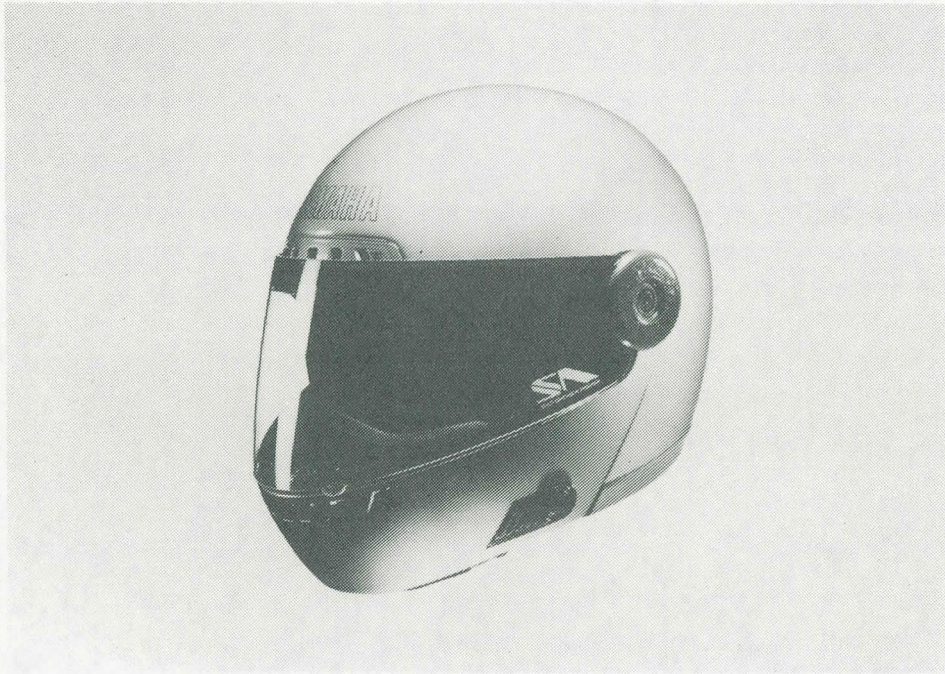
また内装についても通気性を高めるために風の通路を確保していますので、よりベンチレーション効果が高まります。

#### 8. 高度な耐衝撃性、耐貫通性を持つ FLEX-FRP 積層構造

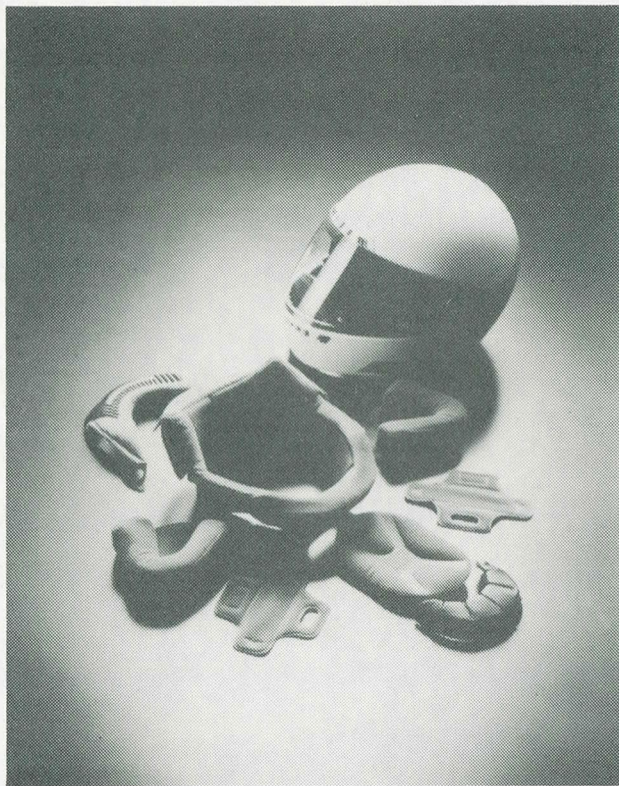
帽体構造は、ヘルメットの軽量化を図りながら強度を高めたヤマハ独自のフレックスFRP積層構造で、長いガラス繊維を収束して織り上げた布状のFRPを使用し、貫通に対してねばり強く、かつ衝撃を広く拡散するすぐれた特性を実現させています。

#### 9. 確かな視界と作動性を持つ3次曲面、ハードコーティングシールド

シールドには、フルフェイスタイプは2mm厚、ジェットタイプは3mm厚（オプション）のポリカーボネイト製の3次曲面加工ハード（傷がつきにくい硬目の）コーティングシールドを使用、インジェクション等の成型シールドに比べ光学特性が格段に高いため、長距離や夜間の走行時に目が疲れにくいシールドです。



ヤマハシステムヘルメット『SAi』



着脱式内装